

AluFlood Gate™

アルフラッドゲート



大型開口部の浸水リスクに
常設型止水ゲートという新しい選択

1 浸水位 2.0m の高水位まで対応可能

最大 2.0m の高水位にも対応する高い止水性能*（社内試験値 Ws-5 相当）

2 耐候性・操作性に優れるアルミ合金材を採用

扉体及びレール等各部材には、耐候性に優れ、操作しやすいアルミ押出型材を採用しています。大型扉体（5.0m×2.0m）の場合でもスムーズに可動し、長期間の利用が可能です。

3 常設型だから、緊急時でもすぐに対応可能

着脱式のような持ち運び・組立などの作業は不要です。
シンプルなスライド操作で、誰でも短時間で迅速な開閉作業（省力化）が可能です。

想定設置箇所



工場・物流施設



電力・変電設備



鉄道関連施設



下水道・水処理施設



地下・ピット出入口



日軽エンジニアリング株式会社

近年、ゲリラ豪雨等による降水量の増加によって浸水災害の危険性が高まっており、企業や公共施設の浸水に対するBCP（事業継続計画）策定や防災・減災への取り組みは待ったなしの状況にあります。

「AluFlood Gate™」は、高さ 2.0m までの高浸水位に対応可能な「常設型」で、開閉作業が短時間で済むアルミ合金製大型止水ゲートです。

基本仕様

製品名	AluFlood Gate™（アルフラッドゲート）
形式	アルミ合金製大型止水ゲート（手動引き戸式）
対応サイズ	開口幅 5.0m以下、止水高 2.0m（最大）
止水性能	JIS A 4716 の漏水量による等級区分について Ws-5 相当 ※5m×2mでの社内試験（参考値） ※保証値ではありません。
材質	アルミニウム合金（扉体）
扉体重量	約 560kg（幅 5.0m×高さ 2.0mの場合）
備考	設置条件、扉体形状、施工条件等により適用可否・仕様が異なります。

止水性能（水張試験）

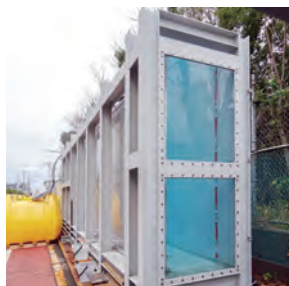
本製品は、社内試験および第三者試験により、止水性能を確認しています。第三者試験は、一般財団法人 建材試験センターにて実施。

試験方法は、JSTM K 6401-1

〔浸水防止用設備の浸水防止性能試験方法 第1部〕に準拠しています。

社内試験では、Ws-5 相当の水密性を確認しています。

JIS A 4716 の漏水量による等級区分



社内試験写真

等級	漏水量【ml/(h・㎡)】
Ws-1	0.05を超え 0.2 以下
Ws-2	0.02を超え 0.05以下
Ws-3	0.01を超え 0.02以下
Ws-4	0.004を超え 0.01以下
Ws-5	0.001を超え 0.004以下
Ws-6	0.001以下

操作手順（扉体を閉める）

- ① ゲート周辺確認**
ゲート周辺に人や障害物がないこと、走行路に異物がないことを確認します。
- ② 扉体走行**
レール蓋を取り外し、取っ手を持ち、レールに沿って扉体を閉方向へゆっくりと走行させます。
- ③ 扉体締付**
締付金具を操作し、扉体を戸当たり側に密着させ、止水性を確保します。
- ④ 操作完了**
扉体締付を確認して閉操作は完了です。

導入フロー

- ① ご相談**
開口部寸法や利用環境、浸水条件などを確認
- ② 設計・仕様検討**
各設計条件を基に、仕様や納まりを検討
- ③ 製作**
工場にて製作・組立検査を実施
- ④ 施工**
据付・調整を実施
- ⑤ お引き渡し**
操作確認後、お引き渡し

参考技術基準

- ・（一社）日本アルミニウム協会
「アルミニウム合金製水門設計・製作指針（案）」
- ・（公社）土木学会
「アルミニウム合金土木構造物設計・製作指針（案）」
- ・（一社）ダム・堰施設技術協会
「ダム・堰施設技術基準（案）」

⚠ 注意事項

- ・本製品は、ダム・堰施設技術基準（案）や水門関連基準などに準拠した製品ではありません。このため、公的基準への準拠が必須となる案件には適用できません。
- ・本製品は浸水リスクの低減を目的としたものであり、完全な止水・浸水防止を保証するものではありません。
- ・止水性能は社内試験に基づく値であり、設置条件や施工条件などにより実際の性能は異なる場合があります。
- ・コーキング材やゴム部品などは、経年劣化により性能が低下するおそれがあります。年 1 回以上の点検を推奨します。
- ・製品が水没した場合は、その後速やかに点検を行うことを推奨します。

